

社会福祉法人南富良野大乘会  
令和 7 年度 地域連携推進会議 議事録

1. 日 時 令和 7 年 12 月 9 日 (火) 13:00～15:00
2. 会 場 からまつ園 1F からまつホール
3. 出席者 ご利用者 6 名 (からまつ園～Y さん、A さん、こざくら園～A さん、S さん)  
(ぴ あ～M さん、K さん)  
(推進員) ご家族 6 名 (O さん、N さん、K さん、S さん、S さん、W さん)  
地 域 3 名 (法人第三者委員～O さん、Y さん、町内会長 I さん)  
行 政 1 名 (M さん)  
計 16 名
4. 挨拶 鷹嘴理事長からの開会にあたり挨拶を行う。
5. 委嘱状交付 鷹嘴理事長より推進員候補者へ委嘱状を交付する。
6. 議事概要
  - (1) 議事に入る前に各地域連携推進員の紹介並びに自己紹介を行う。
  - (2) 地域連携推進会議の規程説明。
  - (3) 議長選出～互選により K 推進員を選出。
  - (4) 副議長選出～議長の推薦により副議長に O 推進員を選出。
  - (5) 各事業所の事業内容説明
    - ・からまつ園、こざくら園、グループホームぴあの順で日常生活や事業概要虐待防止、災害対策等についてパワーポイントを使用し説明を行う。
  - (6) 質疑応答 (意見・質問)
    - ①意見
      - ・利用者の家族は遠方に居住している場合が多く、緊急時などに迅速に駆け付けることが難しい状況にある。そのため、地域住民の協力や理解は不可欠であり、今後の事業運営においても、地域との交流を大切にし、利用者が安心して生活できる環境および地域づくりに努めていただきたい。
      - ・各事業所からの説明ではいずれの事業所で人材不足が共通の課題として説明を受けた。人材確保に向けた取組みは短期間で成果が得られるものではないが、今後も関係団体とも連携して、実効性のある対策をお願いしたい。
    - ②質問
      - ・各事業所からの報告において人材不足が指摘されていたが、実際の人員配置状況はどのようなになっているのか。  
→事業内容により状況は異なるものの、いずれの事業所においても法令で定められた人員配置基準数以上を配置している。さらに、職員を加配することで報酬加算の取得が可能となり、人員体制の強化を図ることができるため、可能な範囲で職員の加配を行っている。
      - ・夜間帯において地震が発生した場合の各事業所の対応について教えて欲しい。  
→入所施設については、地震の規模にもよるが、原則として夜勤職員が初期対応を行い、必要に応じて職員の招集を行う場合もある。グループホームでは、夜間帯は職員が常駐していないことから、震度に応じて対応を決定している。震度 3 までの場合は役職員が見回りを行い、震度 4 以上または被害が想定される場合は、役職員に加えて一般職員を応援として招集する場合がある。
7. 事業所見学  
会議終了後、からまつ園→こざくら園→ぴあの順で事業所内を見学、担当職員から主にご利用者の生活状況等について説明している。
8. 備考  
今後は年 1 回開催を予定。